

県民の方等へのエイズに関するメッセージ

岡山県では、「県内でのエイズ感染防止といきなりエイズの防止」のため、関係者が協力して「おかやまエイズ感染防止作戦」を実施しています。作戦実施にあたり、県民の方々へメッセージを発信します。

このメッセージを多くの人に伝えていただきたいと考えています。メッセージは、伝えたい人や内容により、選択して使用してください。

令和2年6月

●エイズとはH I V（ヒト免疫不全ウイルス）に感染して起こる病気です。

H I Vに感染してもすぐにエイズ（後天性免疫不全症候群）を発症するわけではありません。風邪に似た症状が出ることもありますが、エイズ検査を受けなければH I Vに感染しているかどうか分かりません。

病気とたたかう抵抗力（免疫）が低下して、発症するまで数年～10年程度の一定期間自覚症状のない時期が続くことが特徴です。

エイズの感染経路は ①性行為（異性間・同性間）による感染 ②血液を介しての感染（注射器具の共用など） ③母親から赤ちゃんへの母子感染 です。

ウイルスは、精液・膣分泌液・血液・母乳に含まれています。口腔や性器などの粘膜にこれらが直接触れなければ感染することはまずありません。

●エイズは予防できる病気です。

H I Vの感染力は弱いので、性行為以外では、日常生活の中でうつることはほとんどありません。

性行為でも、コンドームを正しく使用すれば、ほぼ100%予防することができます。ただし、直前につけるのではなく、性行為のはじめから終わりまでつけておくことが必要です。また、コンドームの使用は、梅毒やクラミジアなどの性感染症の予防にも役立ちます。

●エイズはH I Vに感染していることを早く知ることが重要です。

いまのところ、エイズを完全に治す薬はありませんし、エイズを発症してしまうと治療が難しくなります。H I V感染とエイズ発症は違いがあります。H I V感染は、エイズウイルスに感染はしているけれども、まだ症状がでていない状態を言います。エイズ発症とは、23種類の指定された日和見感染症（正常な免疫力があればかからない病気）のいずれかを発症している状態をいいます。

医療の進歩によって、適切な治療を受けることにより免疫力を回復することができ、発症する前にウイルスが身体の中で増えないようにエイズの発症を阻止することができます。他の慢性疾患と同じように入院することなく定期的に病院に通うことで、コントロールが可能となっています。

●岡山県では、10か所の拠点病院で専門的な治療が受けられます。

エイズ治療拠点病院でHIV陽性者の方へ専門的な医療を提供しています。

<拠点病院>

川崎医科大学附属病院（中核拠点病院）、岡山大学病院、独立行政法人国立病院機構岡山医療センター、岡山済生会外来センター病院、岡山赤十字病院、公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院、独立行政法人労働者健康安全機構岡山労災病院、独立行政法人国立病院機構南岡山医療センター、川崎医科大学総合医療センター、津山中央病院

●日本では、いきなりエイズは約3割のまま推移しています。

2019年の国内のHIV感染者およびエイズ患者報告数は、は1,219件（速報値）であり2017年からは減少傾向です。しかし、エイズを発症して初めて感染に気づく方（いきなりエイズ）は依然として、約3割のまま推移している現状です。早期発見のために、検査相談や、検査の機会を積極的に利用してください。

●HIV感染者は、20～40歳代の男性が中心です。

岡山県でも、20歳代男性の感染が多くなっています。

エイズ動向委員会の報告では、国内で新たにHIVに感染したことが分かった人の約7割が同性間の性的接触によるもので、20～40歳代の男性の感染が多くなっています。岡山県での2019年のHIV感染者は20歳代が最も多い状況です。他にも、30歳代～60歳代の年齢層でも感染者がみられ、どの年代の方々にもエイズに関する正しい知識を持っていただき、積極的に検査を受けていただきたいと思います。

●性感染症に感染していると、HIVに感染しやすくなります。

梅毒や性器クラミジア感染症などの性感染症にかかっているとHIVに感染する確率が数倍から十数倍になります。

岡山県の2019年の梅毒報告数は、190名（男性：123名、女性：67名）と1999年に感染症法が施行されて以降、最も多く、人口100万あたりの報告数が全国第3位の状況が続いています。男性は20歳代・30歳代（各年代約30%）、40歳代（23%）、50歳代（約11%）となっており、女性では、20歳代が半数以上を占めています。また、性器クラミジア感染症は、2019年においても、最も患者報告数の多い性感染症という状況が続いており、無症状で他覚的所見の認められない無症状性感染者も多い状況です。性感染症はオーラルセックス（口腔性交）でもうつります。多くの保健所では、性感染症の検査を実施していて、エイズ検査とあわせて無料匿名で性感染症検査を受けることができます。

●企業訪問や出前講座を行っています。

HIV感染者・エイズ患者の発生報告の多くは20～40歳代です。岡山県では、この年代の方々エイズに関する正しい知識を持ち積極的に検査を受けていただきたいと思いますと考え、その一環として企業訪問や出前講座を行っています。

職場の方へのメッセージ伝達や検査啓発カードの設置等にご協力ください。

●H I Vに感染していても仕事等も続けることができます。

H I V感染を診断されたあとも、仕事等を続けている方が増えています。早期に分かればいろいろな治療方法が可能になりますし、定期的に受診し決められたとおり服薬すれば、エイズの発症を抑え、仕事等も続けることができます。

2009年の厚生労働省のH I V陽性者の生活と社会参加に関する調査(※)でも、回答者の76%が働いていました。

(※「H I V/エイズとともに生きる人々の仕事・くらし・社会～H I V陽性者の生活と社会参加に関する調査報告書」
厚生労働省 地域におけるH I V陽性者等支援のための研究班、2009)

●日常的な接触で、感染することはありません。

ウイルスは、感染している人の精液、膣分泌液、血液、母乳に含まれていて、粘膜や傷口から体の中にある程度の量が入ることにより、はじめて感染の可能性が生じます。

出血の可能性を考慮して歯ブラシやカミソリなどは共用しない方がよいですが、せき・くしゃみや握手などでは感染しませんし、鍋物を一緒につついたり、蚊による媒介などでも感染したりはしません。

ウイルス性肝炎など他のウイルスと比べても、H I Vの感染力は弱いです。

●H I V感染は、検査でしか分かりません。

エイズを発症するまで、自覚症状のない期間が数年程度続きます。検査を受ける以外にH I Vに感染しているかどうかを知る方法はありません。

●岡山県ではエイズ検査は7保健所・4支所と10拠点病院で受けられます。

保健所・支所では毎月定例日に無料・匿名検査をしています。結果は約1週間後に分かります。備前・美作保健所、岡山市及び倉敷市保健所では、即日検査を実施しており、約1時間後に結果が分かります。

拠点病院では月～土まで毎日どこかの病院で検査をしています。

検査料金は一律1,000円、結果は即日(1～2時間後)で分かります。

●受けやすい検査環境の充実を図っています。

保健所・拠点病院の検査対応職員に、エイズ検査対応職員向けプログラムを実施する等、検査環境の充実を図っています。また、検査受検された方へ匿名でアンケートを行い、検査の質向上を目指しています。

●検査結果は、秘密厳守。

医師や保健師などには守秘義務があり、検査結果が本人以外に漏れることはありません。

保健所での匿名検査結果は、必ずご本人に来所していただいています。電話等で問い合わせても、結果をお知らせすることはできません。

●エイズ検査が受けられる保健所・拠点病院の連絡先

ご自分の健康のためにも、大切な人を守るためにも是非、検査を受けてください。検査を受けるタイミングが分からない場合は、定期的に検査を受けましょう。また、パートナーにも検査を勧めてください。

また、保健所では、検査等に関する相談も受け付けています。備前・備中・美作・岡山市・倉敷市では、専用電話（エイズホットライン）を設置しています。

詳しくは、岡山県ホームページで [<http://www.pref.okayama.jp/page/detail-7846.html>]

<保健所・支所> *検査は無料・匿名で希望する保健所で受けられます。(要予約)

*検査は、新型コロナウイルスの感染対策のため中止となる場合があります。ホームページ等でご確認の上、ご予約ください。



保健所	受付電話番号	検査日・時間
備前保健所	ホットライン (086) 272-5553	第1・第3金曜日 9:30~15:00 *即日検査
備前保健所東備支所	(0869) 92-5180	第2木曜日 9:30~11:30
備中保健所	ホットライン (086) 425-2133	第2・第4月曜日 10:00~12:00
備中保健所井笠支所	(0865) 69-1675	第4木曜日 10:00~11:00
備北保健所	(0866) 21-2836	第4火曜日 13:00~14:00 *祝日の場合は変更あり
備北保健所新見支所	(0867) 72-5691	第2水曜日 10:00~11:00
真庭保健所	(0867) 44-2990	第3火曜日 9:00~11:00
美作保健所	ホットライン (0868) 23-9949	第1木曜日 9:30~11:30 第3木曜日 10:00~11:30 *第3のみ即日検査
美作保健所勝英支所	(0868) 73-4054	第3水曜日 10:00~11:00
岡山市保健所	ホットライン9:00~12:00 (086) 803-1269	第1月曜日 13:00~16:00 第1・第3水曜日 9:00~12:00 偶数月の第1月曜日 17:20~20:00 (夜間即日) *新型コロナウイルス感染対策のため、6月の定例検査は中止予定です。詳細は岡山市ホームページ等でご確認ください。
倉敷市保健所	ホットライン9:00~16:00 (086) 434-9099	第2・第4火曜日 13:00~15:20 *祝日の場合は変更あり 7・1月の第2火曜日、3月の第3火曜日 18:00~19:30 (夜間即日) 12月第1日曜日 13:00~15:00 (休日即日・予約不要)

<エイズ治療拠点病院> *検査は1000円で受けられます。いずれも即日検査です。(要予約)

検査予約窓口	受付電話番号	検査日・時間
川崎医科大学附属病院 腎尿路・血液・糖尿病センター外来	(086) 462-1111 内線23607	月・火 9:00~12:30 水・木 9:00~16:30 *要相談日 金・土
岡山大学病院 医事課	(086) 235-7584	月 13:00~15:00
岡山医療センター 企画課	(086) 294-9911 内線4201	月~金 8:30~11:00
岡山済生会外来センター病院 医事2課	(086) 252-2213	月~金 8:30~17:00
岡山赤十字病院 内科外来	(086) 222-8811 内線21102	月 14:00~14:30
岡山労災病院 患者サポートセンター	(086) 262-0131 内線 PHS4931	水 13:30~16:00
倉敷中央病院 看護部外来	(086) 422-0210 内線3977	月~金 8:30~11:00
南岡山医療センター企画課医事	(086) 482-1128 内線1112	木 14:00~16:00
川崎医科大学総合医療センター 医事課	(086) 225-2111 内線80218	月~金 8:30~16:00 土 8:30~11:30
津山中央病院 医事課	(0868) 21-8111 内線2224	水 午後

●エイズは、性感染症の一つで特殊な病気ではありません。

周囲の反応への不安から、病名を告げられないまま病気と向き合っている方もいらっしゃいます。正しい知識を身につけ、思いやりと気遣いを持って接しましょう。

●H I V陽性者への偏見・差別をなくしましょう。

H I V陽性者への偏見・差別があると、陽性者の皆さんは、周囲からの偏見・差別が怖く、なかなかまわりに本当のことを告げることができません。

H I V陽性者の皆さんが、偏見・差別を受けることなく過ごせる地域を作っていくために、エイズに関しての正しい知識を多くの方々に知っていただくことが重要と考えています。

たとえば、知り合いやパートナーの方等にこのメッセージを伝えるなど、出来る範囲でのご協力をお願いします。

●世界エイズデーとレッドリボンについて

世界的レベルでのエイズまん延防止と感染者・患者に対する偏見・差別の解消を図ることを目的として、12月1日が“World AIDS Day”（世界エイズデー）と定められました。この日を中心に世界各地でエイズ予防・支援のためのイベントなどが行われています。

レッドリボン（赤いリボン）は、エイズに関する理解と支援のシンボルマークです。レッドリボンは、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズと共に生きる人々を差別しないというメッセージです。このレッドリボンの意味を知り、レッドリボンを身につけることによって、エイズをみんなで考えることが大切です。

●Living Together

国連合同エイズ計画（UN エイズ）の発表によると、2018年は、世界のHIV陽性者数は3,790万人となっており、世界中でこの病気と戦っている人がいます。

岡山県でもH I Vに感染している人も感染していない人も一緒に生きていて（Living Together）、偏見や差別のない社会づくりをめざしています。